

平成28年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

平成28年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象：保護者(施設アンケート結果125世帯)、保育教諭(学校経営評価 自己評価結果30名)

上記保護者、保育教諭の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校評価委員7名の評価結果です。

学校関係者評価結果【5段階評価：A・・・よくできている B・・・どちらかといえば C・・・普通 D・・・どちらかといえばできていない E・・・できていない】

評価項目	領域	学校関係者評価			
		5段階評価	コメント:(訪問日) 1/25 (評価者) 学校評価委員		
I	理念・基本方針	理念・基本方針が確立されている。	A	85%	<ul style="list-style-type: none"> ・園則が整備されていて、分かりやすいと思いました。 ・安全面への配慮は、今後とも継続していただきたい。 ・日々職員の方々と接していて、保育理念、運営方針が周知徹底されているのは知っていますが、職員会議などの実績などの説明があってもいいのかなと感じました。職員の方々の努力も評価委員としては、把握しておきたいと思いました。 ・将来を見据えた保育方針の考えを聞いて、安心しました。様々な環境の中でも心も体も強く逞しく対応できる下地を作ってほしいと思います。 ・地域との関わり方を「仁井田カルタ」などをとおして自然と学べていると思います。 ・ちょっと見学しただけで評価することは難しいのですが、丁寧に取り組まれていると感じました。保護者アンケートには、色々ありましたが、子供達が元氣よく運動したり、笑顔で工作したりしている姿に、職員の方々の頑張りが良くあらわれています。これからも、保護者の多大な期待にも応えながら何より子供達をあたたく育ててくださるよう、お願いします。
			B	15%	
		C	0		
		D	0		
		E	0		
II	組織の運営管理	職員の質の向上に向けた体制が確立されている	A	57%	
		利用者の安全を確保するための取組が行われている	B	28%	
		地域との関係が適切に確保されている	C	15%	
		関係機関との連携が確保されている	D	0	
			E	0	
III	適切な福祉サービスの実施	利用者満足の向上に努めている	A	71%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声に適切に対応されています。 ・資料にあるように、アンケートを通じ利用者側が良い事も改善して欲しい事も伝えられ、それに対する今後の取り組みについて、園側が明確に提示する事は、相互理解に於ける的確な手段を講じていて、とても好感が持てました。 ・保護者アンケートは十分な内容だと思います。それに対しての対応は、ケースバイケースでじっくり考えて頂きたいと思います。 ・個別の相談や意見には、きちんと対応してくれていると感じます。アンケートの回答で「ここには書けない・・・」と、記されていたのは、大半の親御さんの意見のように感じます。しょうがないとは、分かっていますが・・・。
			B	29%	
			C	0	
			D	0	
			E	0	
IV	教育・保育の基本	養護と教育の一体的展開	A	85%	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の発達段階に応じた教育・保育が工夫されていると思います。 ・小学校に入学する際のギャップを少なくする工夫がされており、小学校の教員もそれを知ることが必要だと感じました。 ・「あおぞら体操」は園児たちに浸透しているようです。職員の方々の頑張りが伝わってきました。 ・自然とのかかわりとして「ウサギ」を飼育して園児が世話するという事は、良い試みと思いますが、室内での飼育は衛生面(毛の生え変わりや糞の始末等)から考えると心配です。飼育の場所については、検討していただきたい。 ・たいよう、つき、かぜと就学前の肝心な時期を、段階を踏まえ掲示物の工夫や職員の工夫により、学ぶということの楽しさを分かってもらおうという努力が、良く分かります。楽しく園生活を送る中で、学びというスパイスをうまく活かせていると思います。欲を言えば、各クラスの活動内容の掲示物が、もう少し良く目に入る場所や大きさの方が、いいのかなと思います。 ・年齢に応じた保育の内容を考え、情報収集していると思います。 ・屋外、課外施設等を利用し、積極的に家庭では難しい体験をさせていると思います。 ・障害のある子供を見たことが無く、分かりませんでした。 ・障害のある子供の受け入れというのはどのようにしているのか、よく分からない部分があります。 ・お休みや時間の幅などが狭まっていることなど何度でも伝えた方がいいと思います。長く通わせている親としては、その記憶が残ったままであると思うので。
			B	15%	
			C	0	
			D	0	
			E	0	
		環境を通して行う教育・保育	A	85%	
			B	15%	
			C	0	
			D	0	
			E	0	
		子どもの生活と発達	A	57%	
			B	15%	
			C	28%	
			D	0	
			E	0	
IV	教育・保育の基本	子どもの福祉を増進することに最も相応しい生活の場	A	71%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡が良くとれていると思います。 ・薄味教室は、本物の味を知る上で、とても良い試みと思っています。保護者の方々にも、是非啓蒙して頂きたいと思います。本日の給食大変おいしくいただきました。ありがとうございました。 ・減塩給食、とてもびっくりでしたが、本当に良い取り組みだと思います。コスト面、設備面でも大変だと思いますが、これからもぜひ続けてほしいです。園児の方々の感想も知りたいです。 ・アンケートにもありましたが、各クラスのホワイトボードをまとめて一か所に掲示するなどの工夫があってもいいのかなと思います。 ・アレルギー対策について少し伺いましたが、アレルギーのあるものを選ぶのではなく、徐々に慣れてもらおうという意識に好感が持てました。まだ、長く生きていく園児達にとっても、とても大事な意識だとおもうので、各家庭と連携して頑張ってもらいたいです。 ・保育参加後の保護者ミーティングなどまめにやっていると思います。 ・食事に対しての一生懸命さが良く伝わりました。たくさんのお母さん、お父さんにごも園ではこんなことまで考えていますよ、もっとアピールしてもいいと思います。食べ物というのは、みんな関心のあることなので。
			B	29%	
			C	0	
			D	0	
			E	0	
		健康及び安全の実施体制	A	57%	
			B	43%	
			C	0	
			D	0	
			E	0	
		家庭との緊密な連携	A	85%	
			B	15%	
			C	0	
			D	0	
			E	0	